

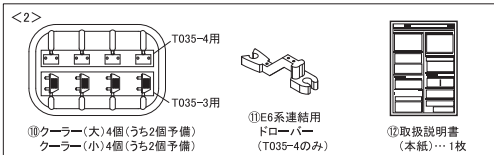
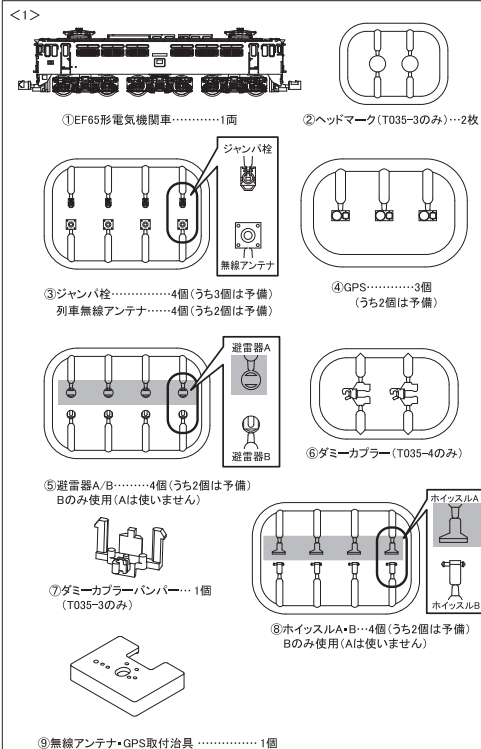
※本製品に付属のパーツを取り付ける場合は、プラスチック用ニッパー、ピンセット等が必要です。

この度は、ロクハン製品をお買い求め頂きありがとうございます。
鉄道模型は精密に出来ておりますので、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

1 取り扱ひ上の注意

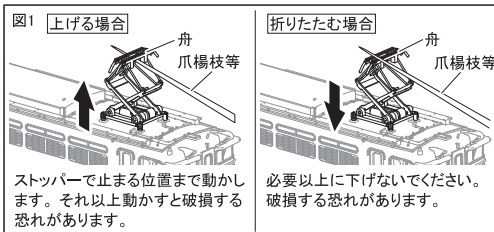
- 本製品の運転には、必ずロクハン製コントローラーをご使用ください。
- 運転の前には線路(金属レール)の清掃をしてください。
- 車輪に汚れやホコリが付着したら拭き取ってください。
- 長時間の連続走行はしないでください。
- 走行中、急激に進行方向を切り替えないでください。進行方向を変える場合は、一度停車してから進行方向を切り替えてください。
- 脱線やショートした場合はコントローラーの電源を切り、プラグをコンセントから抜いた後、原因を取り除いてください。
- 故障の原因になりますので、分解や改造をしないでください。
- 車両を直射日光や蛍光灯に長時間当てると塗装が変色しますのでご注意ください。
- ホコリの多い場所や高温多湿となる場所、暖房器具の近くでの使用、保管はおやめください。
- 感電の危険がありますので、製品をぬらしたり、ぬれた手で触らないでください。
- 製品の尖っている部分でケガをしないよう、十分にご注意ください。
- 工具を使用するときはケガをしないよう、十分にご注意ください。
- 製品の特性上、この商品は15歳未満のお子様には適しません。15歳未満のお子様の場合は、保護者のもとでお遊びください。

2 セット内容



3 パンタグラフの取り扱ひ方

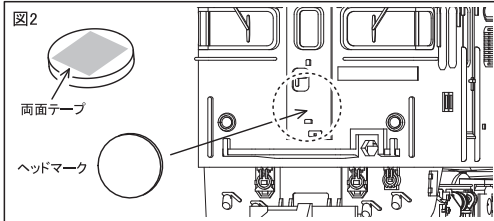
図1を参考に、パンタグラフを持ち上げるときは舟の下側を、パンタグラフを折りたたむときは舟の上側を爪楊枝等の細い棒で、ゆっくりと動かしてください。



4 付属パーツの取り付け方

4-1 ヘッドマークの取り付け方(T035-3のみ)

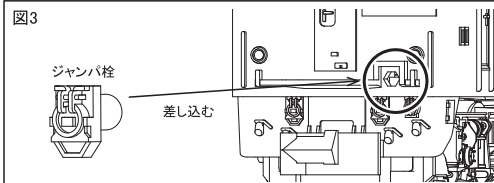
図2を参考に、ランナーパーツからヘッドマークをニッパー等で切り離し、両面テープなどで車両に貼り付けてください。



4-2 ジャンパ栓、避雷器、ホイッスルの取り付け方

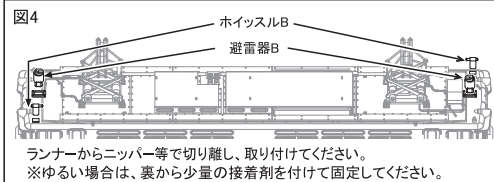
<ジャンパ栓の取り付け方>

図3を参考に、ジャンパ栓を差し込み取り付けてください。



<避雷器・ホイッスルの取り付け方>

図4を参考に、避雷器・ホイッスルを取り付けてください。



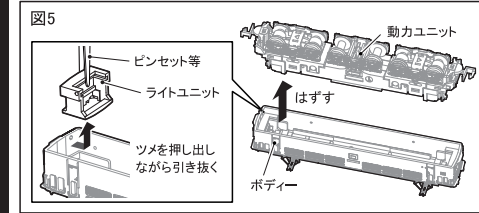
4-3 列車無線アンテナ、GPSの取り付け方(中・上級者向け)

これから行う部品の取り付け工程は、模型を理解した上級者向けの作業となっております。加工する際には、ケガをしないよう工具の取り扱いに十分注意し、本製品の構造を良く理解したうえで慎重に作業を行ってください。

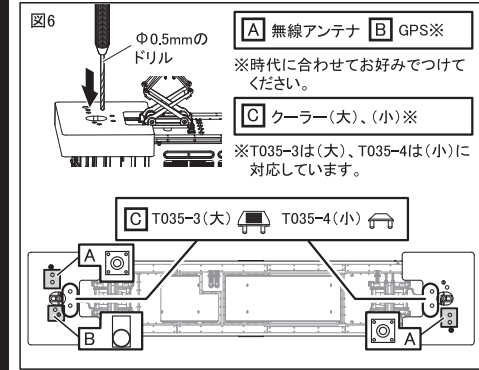
※この作業を行う際は、ドリル(Φ0.5mm)等が必要です。

お好みの車両タイプを再現できるよう、列車無線アンテナ、GPS取り付け穴は開けておりません。お好みで取り付けの場合は、この項目に従って取り付けてください。

①ボディの裾を少し広げて、図5を参考に動力ユニットとライトユニットを取り外します。
ライトユニットを取り外す際はクリアパーツを破損しないよう、一度手前に引いてから取り外してください。



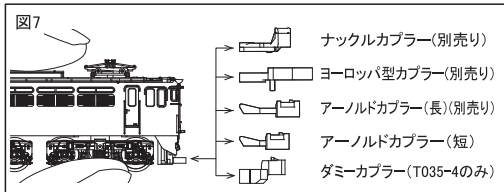
②列車無線アンテナ・GPS取付治具を、図6のように屋根に乗せます。次にそれぞれ穴の場所に、Φ0.5mmのドリルを挿して穴を開けます。
※パンタグラフを破損しないよう、ご注意ください。



5 カブラーの交換方法

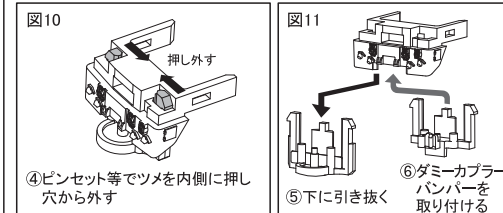
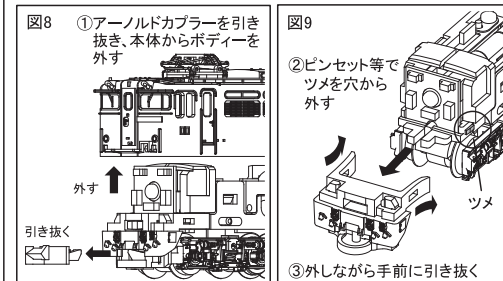
5-1 カブラーの交換方法

本製品にはアーノルドカブラー(短)が取り付けられていますが、走行するレイアウトの条件や、牽引する車両によって、必要に応じたカブラーに交換できるようになっております。
別売りのナックルカブラー短/長(A019/A020)、ヨーロッパ型カブラー短/長(A021/A022)、アーノルドカブラー長(A025)等へ交換する場合は図7を参考に交換してください。(T035-4のダミーカブラーも同様)



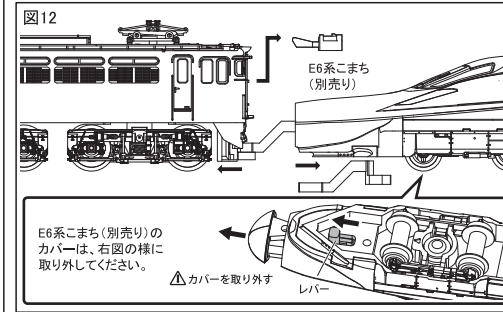
5-2 ダミーカブラーパンパーとの交換方法(T035-3のみ)

アーノルドカブラーを引き抜き、図8,9,10,11に従って外してください。その後、逆の手順で取り付けてください。



5-3 E6系連結用ドローバーとの交換方法(T035-4のみ)

アーノルドカブラーを引き抜き、図12に従って取り付けてください。



6 メンテナンスについて

- 車両が走行しない場合、フィーダーケーブルやコンセントがきちんと差し込まれていること、またはコントローラーの電源スイッチや方向切り替えスイッチの位置、電池の入れ忘れや入れ間違いにもご注意ください。
- 車両がスムーズに走行しなくなった場合、車輪やレールに汚れが付着している可能性があります。市販のレールクリーナーを乾いた布にしみ込ませ、車輪とレールの汚れを拭き取ってください。
※車輪を拭き取る際は、過度に力を入れられないようご注意ください。
- メンテナンスの際、パンタグラフや精密な部品、取り付けられた部品などを紛失、破損しない様ご注意ください。

7 故障・修理について

- 誤った使用法、取り扱い、改造、分解によって起こった事故、ケガ、故障等については、弊社では一切責任を負いません。また、改造、分解した商品の修理はお受けできません。
- 製品の仕様、及び外観は改良のため予告なく変更することがございます。
- 弊社は、部品の販売はしておりません。
- 製品には万全の注意を払って製造にあつておりますが、万一お気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。